

日本アスレティックトレーニング学会学術大会 抄録査読用ルーブリック

【一般演題用】

	1 不可	2 良	3 最良
緒言・目的	☐ 目的が明確ではない	☐ 目的が明確である ☐ これまでの研究との関連性について記載されている	☐ 目的が明確であり、オリジナリティがある ☐ これまでの研究との関連性が明確である
方法	☐ 実験・調査方法が不適切である ☐ 統計手法が不適切である	☐ 実験・調査方法が適切である ☐ 統計手法が適切である	☐ 実験・調査方法が適切であり、以下のデザインを用いている： ● RCT 研究 ● 前向きコホート研究 ☐ 統計手法が適切である
結果	☐ 結果の提示法が妥当ではない ● 単位が明記されていない ● 用いた統計手法が反映されていない	☐ 結果が統計的な根拠に基づいている ※記述統計や質的統計を用いた研究も含むこととする	☐ 結果が統計的な根拠に基づいており、効果量や信頼度についても報告している ※記述統計や質的統計を用いた研究も含むこととする
考察	☐ 考察が合理的ではない ☐ 結果から飛躍した考察がされている	☐ 考察が合理的である ☐ 結果から論理的に考察されている（考察は飛躍しすぎていない）	☐ 考察が合理的かつ論理的である ☐ アスレティックトレーニング学の発展につながるものである
その他	☐ 倫理面において適切な対応がとれていない ☐ 全体的に文書が不明瞭である	☐ 倫理面において適切な対応がとれている ☐ 文書が明瞭である	☐ 倫理委員会の承認が得られている ☐ 文書が明瞭である

5 項目 3 段階評価の 15 点満点

2(良)以上の項目について、チェック項目が 2 つある場合はその 2 つを満たしての評価となる。1(不可)は、いずれか一方でも該当すればその評価となる。